

博士号をとって 銀座でバーをはじめました。

講師：小関 孝子 氏（アカデミックバーオーナー）



会社生活を辞め、研究者になろうと 36 歳で大学院の門をたたきました。でも、いざ論文を書こうと思うと、自分が「パワーポイント病」にかかっていたことに愕然としました。「文章が・・・書けない！」

博士論文というひとつの作品を生み出すまでの約 7 年間の葛藤と、博士論文を書き上げたよろこび、さらに銀座でアカデミックバーをはじめたことなど、ライフヒストリーと共に語ります。学術論文には「理論と実践」そして「過去と未来」をつなぐ役割があると信じています。

日 時：2015 年 11 月 11 日 [水] 5 時限 (16:20-17:50)

会 場：関西大学千里山キャンパス 第1学舎1号館5階 A501 教室

*** 事前申込不要・参加費無料**

*** 津田塾大学の講演会を TV 会議システムで中継します。**

小関 孝子 氏（おぜき たかこ）プロフィール：

1971 年東京都生まれ。津田塾大学国際関係学科卒業後、社会経験を経て立教大学大学院に入学。2013 年立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科博士課程後期修了。博士号（社会デザイン学）取得。現在は一般社団法人社会デザイン研究所特別研究員。銀座「アカデミックバーしにいふいあん」オーナー。著書に『生活合理化と家庭の近代 全国友の会による「カイゼン」と「婦人之友」』（勁草書房）。

【お問い合わせ】

関西大学教育開発支援センター事務局

TEL:06-6368-1111(内線:3223)

URL:<http://www.kansai-u.ac.jp/renkeigp>

【主催】

津田塾大学ライティングセンター

【共催】

関西大学ライティングラボ